

西宮 えびす

子供の守り神様
百太夫神社

十日 えびす

●資料展示室・展示紹介

「えびすさまの福を招く」

宝船・縁起物展」

●百太夫神社祭

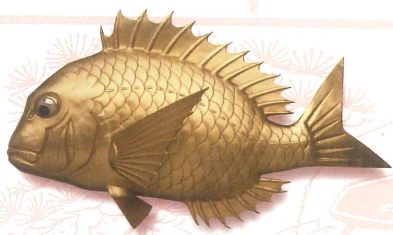
●神社祭事暦

●特別祈禱福まいり

えびすさまの招福厄除祭



西宮大神社



年頭にあたり、謹みて皇室の弥栄を壽ぎ奉りますとことともに、

氏子、各講員そして崇敬者各位の益々のご繁栄をお祈り申し上げます

西宮神社 宮司 吉井 良昭

当社では、平成二十三年に本殿復興五十年記念事業の一つとして江戸期の社用日記の刊行を始め、これまでに元禄七年から享保十三年までの三十五年間の日記を上梓しております。

今春にはその続刊として、原本は戦災により失われましたが、幸い翻刻文が残されている文書群を発刊する予定で、日記の内容を補完する史料として活用が期待できます。

翻刻をお願いしております先生方には、各地に伝わり保存されている当社関係文書の収集にも尽力頂いております。史料の内容は、江戸幕府の御定法により東日本を主に頒布されていた御神影札に関するものです。最近採録されたもので興味深いものをご紹介します。

当社の御神影札の北限は従来奥羽地方までとされてきましたが、津軽海峡を越えて箱館奉行所の史料中に当社関係のものが含まれていました。そしてこの史料が元々保存されていたのは、更に宗谷海峡を越えた南樺太の白主、東富内の御用所だったので。文書の概要は

「摂州西宮恵美酒社(西宮神社)ではえびす・田の神・神馬の札を諸国へ配札しており、先年も松前表へ配札していたが、その後途絶えているのでこのたび松前と蝦夷地へも出

向して配札を致したいと願っている、その社人は紛らわしいものではないので願いの通り承知し、更に関係者へも御達し方あるように。」

というもので、これにより一つは松前藩には当社の配札の実態があつたことが判明し、もう一つには実態は不明ですが、少なくとも松前から更に北進し東・西蝦夷地への配札も考えていた事が分かります。そしてこの文書が樺太まで届いていたことは驚くべきことです。

明治維新を目前にした慶応二年(一八六六)のことです。

当社日誌の文化十二年(一八二四)には、高田屋嘉兵衛と嘉蔵から「エゾ地ノエドロフ嶋ホロイツミ両場所」の諸漁繁栄の御祈祷の依頼を受けた事が記されており、当社としてもエゾ地への知識は十分持っていたのでしょう。

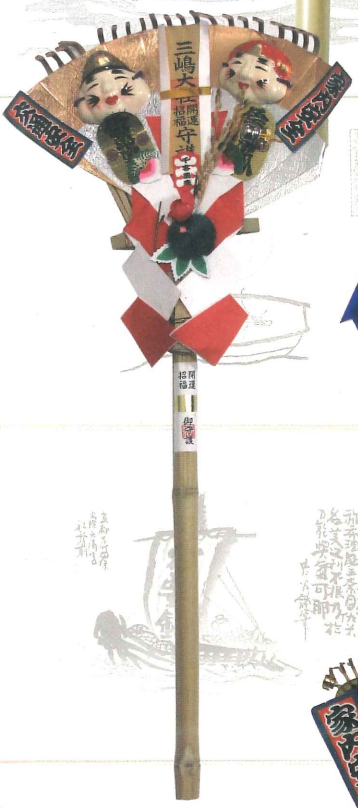
当該史料を含め、新たに発掘された当社関係文書は、今春『近世諸国えびす御神影札頒布関係史料集第二巻』として刊行を予定しております。

本年も 国内津々浦々に遍く御神徳を垂れ給う福の神えびす大神さまのご加護のもと良き年でありますようお祈り申し上げます。



平成二十八年十二月一日〜平成二十九年一月三十一日
西宮神社 えびす信仰資料展示室

「えびすさまの福を招く宝船・縁起物展」



福の神として篤い信仰を集めるえびすさま。えびす信仰資料展示室ではえびすさまに関する資料を九百点以上蒐集しており、全国各地のえびす信仰をご覧頂けます。

宝船を年のはじめに枕の下に敷いて吉夢を願うことは古くから行われており、また縁起物として家や職場に飾って招福を願う風習があります。

また一月の「十日えびす」、また東日本を中心に十一月に行われる「えびす講」のおまつりでは、多くの参拝者が福を求めてえびすさまにお参りし福笹や熊手などの縁起物を受けられます。

今回は全国各地で授与されている宝船・縁起物を展示致します。縁起の良いおめでたい雰囲気になり溢れるえびす信仰資料展示室にお越し頂きえびすさまのご縁を深めて下さい。

1月9日(月・祝) 宵えびす
 1月10日(火) 本えびす
 1月11日(水) 残り福

十日えびす

一月十日午前四時
 十日戎大祭

午前六時
 開門神事
 福男選び

十日午前零時には神門を全て閉門し、神職は居籠といつて身を清め午前四時より祭典を厳肅に斎行致します。午後六時に表大門開門と同時に五千人の参拜者が本殿に走り参りし、いち早くたどり着いた三人を福男と認定致します。江戸時代に自然発生的に始まった神事です。



阪神間最大のおまつりとして百万人に及ぶ参拜者で賑わいます。



一月八日(日)
 午前九時四十分頃
 招福大まぐろ
 奉納式

神戸市東部水産物
 卸売協同組合ら三社
 より重さ約三百キロの
 招福大まぐろが奉納
 されます。

拜殿にお供えされた
 大まぐろには賽銭を貼
 り付けて参拜者が願を
 かけます。

また併せて神戸東部
 青果卸売協同組合によ
 りえびすさまと縁深い
 二股だいこん等が奉納
 されます。

新春祈禱・神楽奉納

えびすさまのご神威が最も高まる正月・十日えびすの期間、本殿での昇殿祈禱を承っております。新玉の年のはじめにご祈禱をお受けになられ一年の招福、益々のご繁栄をお祈り下さい。ご来社のかわかない方は郵便での申し込みも承っております。

また十日えびすの三日間は神楽の奉納を承っております。

◎ご祈禱

月 午前零時～午後六時
 二三日 午前九時～午後六時
 九十日 午前八時～

十日 午後十時五十分
 午後六時～

■ご祈禱料

個人 五千円から
 会社・団体 二万円から

◎お神楽

一月 九十日 午前八時～

十日 午後十時五十分
 午前六時～

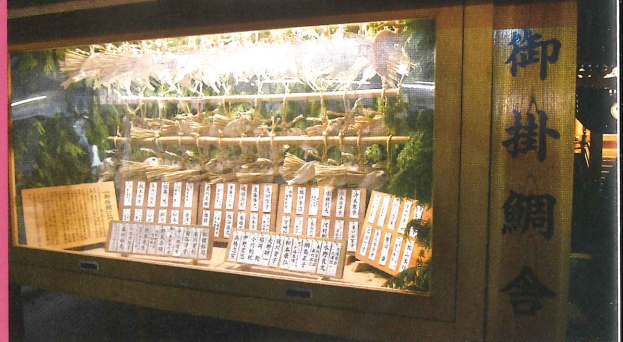
■神楽料 三千円から
 午後十時五十分





御掛鯛のご奉納

お正月や祭礼の吉事の折に、二尾の鯛を結び神前に掛けてこれを奉納する事は江戸時代より各地で広く行われていました。鯛と縁の深い当社でも文化5年(1808)に兵庫津(神戸)の塩物問屋より「御本社御掛鯛」が献上されており、その後は尼崎魚問屋より毎年大鯛3掛、中鯛4掛の掛鯛が明治まで献上されていた記録が残っております。現在、正月・十日えびす期間に御掛鯛舎を設け、広くご崇敬の方々より奉納されております。(1掛8,000円)奉納頂ける方は社務所までお問い合わせ下さい。



一月九日(月・祝)
午後二時
有馬温泉
献湯式
日本最古の名湯として知られる有馬温泉から金泉が奉納、有馬温泉と同旅館組合の繁栄が祈願されます。

年末年始行事予定



十二月 二十七日

十時 煤払祭
十一時 逆さ門松調製

三十一日

十六時 大祓式
十八時 除夜祭

一月 一日

六時 歳旦祭

二日

十時 奉射事始祭

三日

九時半 元始祭

五日

十一時 百太夫神社祭

七日

十時 昭和天皇祭 遙拝

八日

九時四十分 招福大まぐる奉納式

九日〜十日 十日えびす

九日

宵えびす

十時 成人の日祭

十四時 有馬温泉献湯式

十六時 宵宮祭

十日

本えびす

四時 十日戎大祭

六時 開門神事福男選び

十一日

残り福

一月五日 百太夫神社祭

百太夫神社は西宮の傀儡師（人形遣い）が祖神として崇めた百太夫神をお祀りしています。えびすさまの信仰が全国に広まったのは室町時代以降に西宮の散所村（現・西宮市産所町）に住んでいた傀儡師がえびすさまのご神徳を人形操りに託して広めていったからだといわれています。しかし江戸時代後期になると人形遣い達は次第に西宮から離れて淡路の人形浄瑠璃や大阪の文楽へ形を変えていきました。

神社の北側に鎮座していた百太夫神社も天保十年（一八三九）に西宮神社境内に遷されたのでその日を記念し祭典が行われるようになりました。

一月五日には厳肅に祭典を斎行した後、徳島の阿波木偶箱廻し保存会、また地元のえびす座人形芝居館によるえびす舞が奉納されます。

人形遣い 森田晋玄氏による 人形劇「雲上」奉納

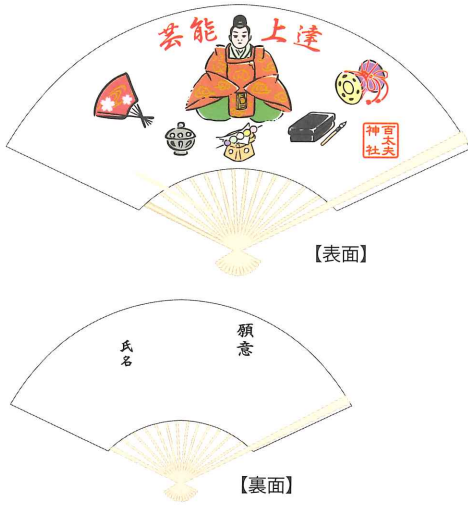
七月七日に人形遣い、また俳優としても活躍されている森田晋玄氏が百太夫神社に正

式参拝され、引き続き社殿の前で人形劇「雲上」を奉納されました。

七夕行事と重なり大勢の方が、ご覧になられていました。

百太夫神社は子ども守り神として、初宮詣の際にはご祈禱の後にご案内申し上げ、多くの方がご参拝されますが、その歴史より芸能の神さまとしてのご神徳をお持ちになられ信仰を集めております。ぜひお参り頂き芸事、習い事が上達するようお祈り下さい。

平成二十九年年始・十日戎より芸能上達の祈願を込め、ご奉納頂ける百太夫神社扇子の授与を予定致しております。



① 一月五日に行われる祭典
② 人形遣い 森田晋玄氏による人形劇「雲上」の奉納
③ 百太夫神社祭の様相

境内で行われる行事・催事

当社では年間約八百の神事を執り行っていますと共に、境内でも様々な行事や催しを行っており、多くの方が参拝されます。その一部をご紹介します。

◎酒ぐらルネッサンス

(十月第二土、日曜日)

全国有数の酒どころである西宮市。その日本酒の伝統文化の発信と、食産業の振興、観光振興を目的として開催されており平成二十八年には二十回を迎えました。新酒の仕込みが始まる十月初旬に行われます。当社境内を主会場として、近隣の酒造会社が出店し日本酒の飲み比べ、市内飲食店の出店、また新酒番船パレードや一番酒振舞い等のたくさんの催しが行われ期間中境内は賑わいます。ぜひ西宮と日本酒の素晴らしさを感じて下さい。



◎全国梅酒まつり

(七月十五日～十八日)

*平成二十九年は四月二十三日～二十五日開催されます。



期間中は様々な種類の自慢の梅酒百五十種類を試飲、購入できます。甘くやさしい口当たりのものが多く女性に人気を集めていました。

◎全国大陶器市(二月末～三月初旬)

全国大陶器市振興組合によりやきものの文化振興、普及を目的に全国各地で開催されます。家庭用食器から伝統工芸作家の作品など、多くのものが境内に並びます。掘りだしものも見つけるのも楽しみのひとつです。



◎骨董市(毎月第三土曜日)

骨董品を扱う店が境内参道に並びます。味のある骨董品が出品されます。

◎手作り市(毎月第一日曜日)

職人、作家たちの手作りのアクセサリ、雑貨、食品などが境内に出店されます。既製品などは一切ない独自の作品が出品されます。手作りならではの温かみのあるものから珍しいものまで並びます。



◎さつき展(五月下旬)

西宮奉月会により約一週間開催されます。さつきは比較的思い通り形作ることができ、様々な作品が展示されます。

◎菊花展

(十月二十五日～十月二十三日)

西宮菊花協会により開催され、平成二十八年で四十回目を迎えます。会員が丹誠込めて育てた菊がずらりと並び、審査会も行われます。七五三のお参りの時期に開催され、菊花壇の前で写真を撮る家族も多く見られます。



◎あらえびす夜祭り 荒戎麦酒祭(七月九日、十日)

七月十日の境内末社沖恵美酒(あらえびす)神社祭にあわせて、当社に縁の深いエビスビール、冷酒の飲み比べ、また門前町の飲食店が軒を連ねます。えびすさまや鯛のねぶたに火が入り、また涼を誘う「風鈴市」や「こども遊技屋台」が出店されます。七月七日の七夕に続き十日には神池に「天の川」が出現します。



特別祈禱

福まいいり

えびすさまの招福厄除祭

■期間

平成二十九年
一月二十八日(土)～二月五日(日)
午前九時～午後四時三十分

■特別祈禱料 一万円

節分の前後のこの期間に、厄年の方に限らず、「福まいいり」えびすさまの招福厄除のご祈禱をお受け頂き、えびすさまの福を受けられて災厄を祓い除き、無事安泰で実りある一年をお過ごし頂きますよう、ご案内申し上げます。

社頭より

石灯笼奉納

西宮市の㈱ヨシダ商事運輸取締役
会長吉田勝行様が祈禱殿横に石灯
籠をご奉納、八月九日に会長以下社
員の方々がご参列され奉納奉告祭を
斎行致しました。灯笼は、ご神前や参
道両側に火を灯す為に崇敬者の寄進
により設けられております。当社にも
境内に多くの商売、漁業関係者の名
前が記された灯笼があります。新たな
灯笼は祈禱殿横に設置されました。



本殿真榊奉納

八月三十一日、西宮市の(有)ジール
代表取締役鎌倉武志様とご家族が
来社され本殿真榊一対をご奉納され、
奉納奉告祭を執り行いました。真榊
は、ご神前の左右に立てる祭具で五色
絹の幟の先端に榊を立て、三種の神
器を掛けたものです。新たな真榊はご
神前の左右に舗設されております。

雨儀渡御本殿祭

九月二十二日の午後、渡御祭を齋
行する予定でしたが、降雨の為残念
ながら中止し、本殿にて雨儀渡御本
殿祭を斎行致しました。宮司が祝詞
を奏上し、小学校四〜六年生までの
用海地区より選ばれた童女が、本殿
で神楽を奉納致しました。祭典後には
産宮参で奉仕予定だった和田神
社、三石神社、柳原蛭子神社に宮



司、西宮ま
つり協議会
の清水勝己
会長が車で
出向しそれ
ぞれ参拝致
しました。

また直会
ではえびす
さまが和田
岬から出現
されたご鎮
座伝承に基
づくえびす
舞を披露致
しました。

七五三

七五三詣とは、三歳・五歳・七歳を迎えた子供の成長に感謝をし、神社へ詣でる人生儀礼のひとつで、現在のような形になったのは江戸時代の中頃からといわれています。

西宮市はマシヨシ等の増加に伴い、小さな子どもが増えており本年も約五千組の参拝がありました。十年ほど前までは十一月十五日前後の土日に参拝される方が多くを占めていましたが近年は混雑を避ける為か、九月末頃から参拝が目立ち、平日も多くの着飾った子どものお参りが見られました。



大祓

六月と十二月の晦日の大祓は古くから宮中の伝統行事として行われています。

大祓詞を奏上し、今年一年知らず知らずのうちに身についた罪穢れを人形に移し、心身を祓い清めます。六月三十日には約四百名の氏子崇敬者ご参列のもと夏越の大祓神事を行い、引き続き茅の輪くぐりを行いました。茅の輪は直径約四メートルにもおよび、市内山口町で刈ったものです。



第四回 講員参拝 見学会

当社では各崇敬講員が見識を深め、懇親を深めるべく年に二回、近畿の社寺を中心に参拝、見学する講員参拝見学会を開催致しております。二回目は滋賀県方面、第三回は和歌山方面に参拝し、第四回目の見学会を九月二十七日に奈良方面「石上・大和・大神三社と安倍文殊院」を開催致しました。四回目となる今回はこれまでで最も多い七十九名様のご参加を頂き、各社に参拝し懇親を深められました。

ぜひ皆さまお誘いあわせの上ご参加下さい。

社頭より

第三回 長野県配札関係懇親会

十月十六日に長野県で当社の御神影札をお配り頂いている方々をお招きし長野市・ホテルメトロポリタン長野に於いて第三回長野県配札分霊関係者懇親会を開催致しました。長野県は特にえびす信仰が盛んな地域で、十一月二十日前後に行われるえびす講のおまつりに合わせて各家庭にえびすさまの御神影札が頒布され、さまざまな形でおまつりされます。



当日は県内より神影札を取り纏め頒布頂いている方々にご参会を賜り、本社より宮司が参上し御神影の配札方法について、えびす信仰の更なる宣揚について意見を交換致しました。その後は懇親会を行いました。次年は静岡県で第三回目の懇親会を行う予定です。



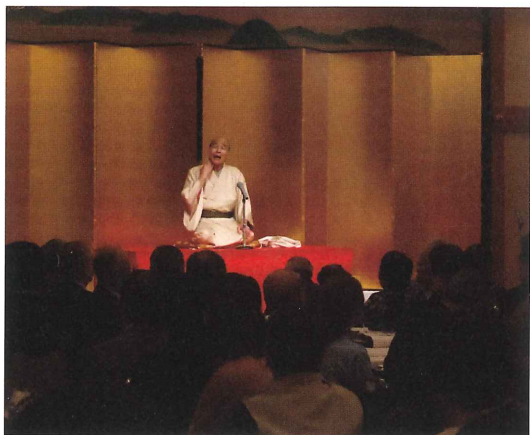
誓文祭

この二年間に受けられたえびすさまのご神恩に感謝申し上げる誓文祭を十一月二十日に斎行致しました。

この祭典は誓文払いとも称し、江戸時代にはえびす講の日に商人たちが年内の売り上げに対する感謝の気持ちを込めて神社に詣で、この日はやはり正直の心に立ち帰り、大売出しや顧客を招いて饗応の催しを行ってりました。

本年は三百十名のご参列のもと、十時より誓文祭を斎行、古記録から再興した古式神饌をご神前にお供えし、十種の神宝を奉持して神職が本殿を廻る鎮魂の儀を奉仕致しました。

直会では先ず落語家桂雀三郎氏による高座の後、古式神饌を基に調製した特別料理をお召上がり頂きました。



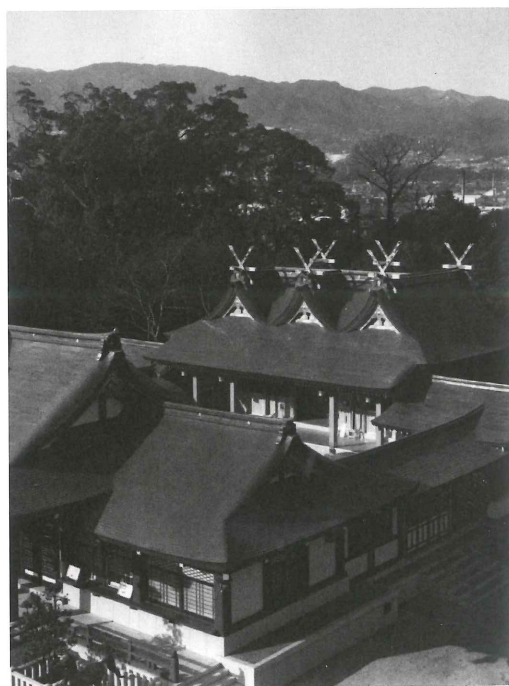
西宮神社 今と昔



昭和8年、式年造営が行われ、本殿屋根の檜皮の葺替が行われました。



平成23年、昭和36年に本殿が復興されて五十年を迎え改修を行い、現在に至ります。



昭和36年、戦災で失われた本殿が元の姿のまま復興されました。屋根は檜皮葺から銅板葺へ変更されました。

●えびす地名調査

当社では以前より、全国のえびす信仰調査の為、全国各地のえびす神社や御札をお配り頂いている方々のところへお伺いをさせて頂いて頂いております。そしてこの度、その焦点を「地名」として、全国津々浦々の「えびす」「ひるこ」「にしのみや（にしみや）」と読める地名を蒐集することにいたしました。

当社職員が、四十七都道府県を分担し、各地の対象となる町名・字名・地形（川・山・岬等）・通称（橋・交差点等）を調査しております。その中には、現在ではほとんど使われることのなくなった「小字」や、「えびさん通り」などの言葉が変化しているものも含んでいます。該当する地名の中で、もし皆さまのご近所や知っておられる地名がございましたら、お力添え頂ければ幸いに存じます。

例：えびす▼恵比須・恵比寿・蛭子・戎夷

ひるこ▼蛭子



えびす NISHINOMIYA EBISU 平成二十九年 新巻号

発行／西宮神社 〒662-0974 兵庫県西宮市社家町1-17 電話 0798-630601 FAX 0798-630535

境内照明灯奉納のお願い



※イラストは出来上りのイメージです
全国より多くの参拝者をお迎えする当社では、夜間参拝の安全を確保すべくご奉納頂いた照明灯を用いていましたが年月を経て傷みが目立ち此度新たに作り替えることとなりました。
つきましては下記の通り格別なるご協力ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

境内照明灯
ご奉賛金 1口10万円
お申込みの方は社務所までお知らせ下さい。

誠に... 華麗に... あこがれの神前式

春のブライダルフェア
3月12日(日) 10:00~17:00

- ◇和装・洋装衣裳展示試着会
- ◇美容相談会(かつら試着体験)
- ◇本殿奉式説明会
- ◇婚礼料理試食会 **要予約**

ご予約不要

西宮神社会館 西宮神社 電話(0798)23-3311 info@jinjyakaikan.com

正月・十日えびすの初穂料・お供えは社務所宛にご郵送頂くか、直接社務所祈禱受付にお納め下さい。また酒樽献納(大十万円・中五万円・小一万円)、ご献米(大五万円・中三万円・小一万円)、昨年より新たに始めましたお菓子を奉納するご献菓(一万円)をご希望の方は別途ご案内をお送りいたしますので社務所までお問い合わせ下さい。



「えびす善哉」

本年お正月に特別善哉(えびす善哉)をご準備致しました。神社会館にて1~3日(午前10時~午後3時)、一日限定100食、お一人様500円にて提供させて頂きます。
ご参拝の折、ぜひ神社会館にお立ち寄り下さい。

編集室から

平成二十三年に「えびす信仰資料展示室」を開設して、全国津々浦々のえびすさまをご覧頂いておりますが、二十八年十二月よりの「えびすさまの福を招く宝船・縁起物展」が二十回目展示となりました。

職員が各地に出張の際に購入するなど、蒐集した資料も九百点を超えました。更なる充実をはかるべく、全国各地のえびすさまに関する珍しい像や土産物がございましたら当社までえびすさま、西宮に関する地名と共に情報をお寄せ頂きたいとお願い申し上げます。

twitterで西宮神社の最新情報を
http://twitter.com/nishi_ebisu

西宮神社 公式サイト 検索
http://nishinomiya-ebisu.com



西宮神社 公式サイト QRコード

編集／文化課 印刷／小西印刷所